

プロロジス、千葉県成田市で マルチテナント型施設 「プロロジスパーク成田 1-D」の起工式を挙



物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業であるプロロジス(日本本社:東京都千代田区丸の内)は、2014年4月22日に千葉県成田市においてマルチテナント型施設「プロロジスパーク成田 1-D」の起工式を同施設の開発予定地にて執り行いました。

起工式には設計施工を担当する株式会社フジタ 奥村 洋治 代表取締役 副社長 執行役員をはじめ関係者の方々、プロロジスからは代表取締役社長 山田 御酒らが参列し、工事の無事と今後の事業の発展を祈願しました。

■ 開発予定地

「プロロジスパーク成田 1-D」は、成田空港第 6 ゲートから約 3.5km の好立地で、新空港インターチェンジ(新空港自動車道)から約 8.1km、富里インターチェンジ(東関東自動車道)から約 7.2km の地点に位置しています。圏央道大栄ジャンクションが 2014 年度中に開通予定であり、これにより「プロロジスパーク成田 1-D」は首都圏のみならず関東全域をカバーできます。

成田空港駅から約 6.7km、芝山千代田駅から約 4.5km の距離にあり、空港第 2 ビルから「プロロジスパーク成田 1」まで専用のシャトルバスが運行されていることから、従業員の通勤の利便性も高く、労働力確保に有利です。

近隣には航空貨物だけでなく、海上貨物を扱うアパレル企業や通販企業が入居する物流施設が多数存在しており、様々な分野の商品を扱う物流拠点として最適です。

■ 施設計画概要

「プロロジスパーク成田 1-D」は最大 3 区画に分割できるマルチテナント型施設として開発され、プロロジスが一体開発を進めてきた「プロロジスパーク成田 1」プロジェクトの最終開発物件となります。

敷地内には「プロロジスパーク成田 1-A、B、C」の 3 棟が運営中で、それぞれの施設で仕様が異なるため、様々なお客様のニーズに対応できます。また、トラック待機場、トラック用駐車場、トラック洗車場、緑に囲まれた憩いの場、コンビニエンスストアが設けられています。24 時間体制の操業も可能で、航空貨物だけでなく海上貨物にも対応できます。

入居カスタマーの事業継続性への配慮から、プロロジスのマルチテナント型施設における標準仕様である緊急地震速報システムや衛星電話等が備えられています。また、災害時、停電時に荷物用エレベーター、垂直搬送機が使用困難に陥った場合に使用する非常用搬出入用開口を設置します。

プロロジスがグローバルで推進している環境負荷を低減した物流施設開発の一環として、1MW 超の大規模太陽光発電システムを導入する予定です。

■ 千葉県内のプロロジスパーク

プロロジスは千葉県内において「プロロジスパーク市川 1」、「プロロジスパーク習志野 4」などをはじめとする 19 棟の物流施設を運営・開発中です。成田市内には「プロロジスパーク成田 1-D」を含め 5 棟の施設を開発・運営中であり、お客様の様々な物流効率化のニーズにお応えしています。今後は従来から需要の強い湾岸地域だけでなく、千葉県内陸部においてもお客様のニーズを掘り起こし物流施設開発を展開させてまいります。

プロロジスは、引き続き日本の各地域においてお客様の物流効率化のニーズにお応えすべく、物流施設の開発・運営を進めてまいります。

「プロロジスパーク成田 1-D」計画概要

名 称	プロロジスパーク成田 1-D
所 在 地	千葉県成田市南三里塚
計画敷地面積	プロロジスパーク成田 1 全体：99,864.82 m ² (30,209.11 坪) プロロジスパーク成田 1-D のみ：23,871.15 m ² (7,221.02 坪)
計画延床面積	28,506.30 m ² (8,623.16 坪)
構 造	S 造 地上 2 階建
着 工	2014 年 4 月
竣工予定	2015 年 1 月

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
プロロジス 広報室

報道関係者お問い合わせフォーム
https://f.msgs.jp/webapp/form/11859_dor_73/index.do